

平成二十九年の年頭にあたって

校長 藤井 和彦

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

三学期はインフルエンザ等の影響もあって全校児童が一堂に会しての始業とはなりませんでしたが、冬休みを終えて久しぶりに元気な子供達の顔を拝見することができました。

今年は何年です。鶏は夜明けを知らせて鳴きますから、中国ではいいことをもたらす動物とされています。また、酉年の特徴として「新しく物事に挑戦するとうまくいく。」「蒔いたものが実り、かりとる時期。」「いままでの努力が報われる。」などともいわれています。

イチロー選手が小学校六年生の時に「僕の夢」として次のような作文を残しています。僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。僕は三才の時から野球の練習を始めています。三才から七才までは一年のうち半分くらい練習していましたが、小学校三年生の時から今までは、三六五日中三六〇日は、激しい練習をしています。

だから一週間中で友達と遊べる時間は五〜六時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球選手になれると思います。

僕が自信のあるのが投手か打撃です。去年の夏、僕たちは全国大会にいきました。そして、ほとんどの投手を見ましたが、自分が大会ナンバーワン選手と確信できました。打撃では四試合のうちホームランを三本打ちました。

僕が一流選手になって試合に出られるようになったら、お世話になった人に招待状を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手になることです。

はっきした目標をもって、そのために人の何倍も努力しようとしていたことがわかります。また周りの人への感謝の気持ちをしつかりともっていたこともわかります。

イチロー選手は、ふつうの人よりの才能に恵まれてはいましたが、小学生の時から厳しい練習を続けていたからこそ願いをかなえることができましたのです。

子供達には、新たな年を迎え、自分の夢や希望を持って、何事にも挑戦し努力し、自己実現を果たしてほしいと思います。